

寄居町

深谷市

平成28年1月9日(土)

なかだいら きたさか
中平遺跡・北坂遺跡 (第2・3次)



公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、寄居PAスマートインターチェンジ建設事業にともない、なかだいら きたさか 中平遺跡と北坂遺跡の発掘調査を行っています。

中平遺跡は、丘陵地に営まれた平安時代(約1,200~1,000年前)の大きなムラの跡です。豎穴住居跡や掘立柱建物跡から土師器・須恵器・灰釉陶器、鉄製の鎌・刀子や土錘、紡錘車などが出土しました。

また、北坂遺跡では、埼玉県最古級(30,000年以上前)の石器が見つかりました。

今回は、最古の狩人と古代の農村のくらしをご案内します。

主催：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

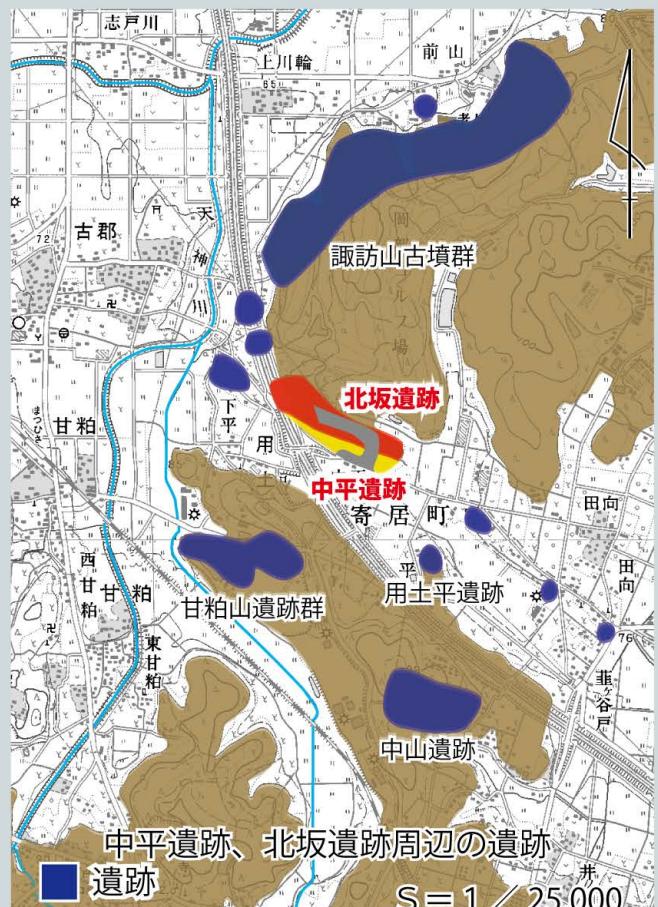
共催：東日本高速道路株式会社

埼玉県教育委員会

寄居町・寄居町教育委員会

深谷市・深谷市教育委員会

協力：美里町教育委員会



なかだいら

中平遺跡は、日当たりの良い南向きの斜面地に営まれた平安時代（約1,200～1,000年前）のムラの跡です。発掘調査では、現在までに竪穴住居跡24軒と掘立柱建物跡8棟が見つかっています。これらの建物跡は、斜面の傾斜に沿って整然と並んで建てられていることと、竪穴住居跡のカマドは、東側に設置したものが多いことが特徴です。

はじき　すえき　かいゆうとうき　かま　とうす
遺物は日常的に使われていた土師器・須恵器とともに、灰釉陶器、鉄製の鎌や刀子、網の重り
である土錘、糸を紡ぐための紡錘車などが出土しています。



第16号住居跡

3基のカマドが1軒の竪穴住居跡から見つかりました。住居の建て直しにともない造り替えられ、中央が最も新しいカマドでした。



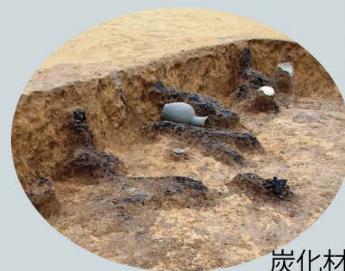
第14号住居跡

きわ
北壁の際から糸を紡ぐ道具である紡錘車が出土しました。弾み車と軸
棒は、ともに鉄製です。中平遺跡では石製・土製の紡錘車や、壊れた
土器を再利用したものも出土しています。



第4号掘立柱建物跡

柱の根元を地中に埋めた建物の跡です。柱を埋めた穴が、規則的に並んで発見されました。桁行3間×梁行2間の身舎に、北・西・南側の三面に廂が付いた大型建物です。



第12号住居跡

かへぎわ
壁際から焼けた建築部材が見つかりました。
等間隔に並んでいるので、壁板の支柱と思われます。



第9号住居跡

かべきわ
壁際から、刺し網の重りに使用した土錘（上）
とムシロなどを編むための編物石（下）が、
並んで見つかりました。

